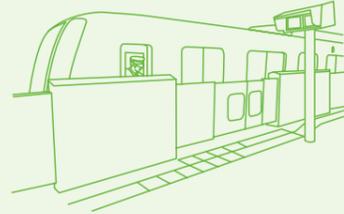


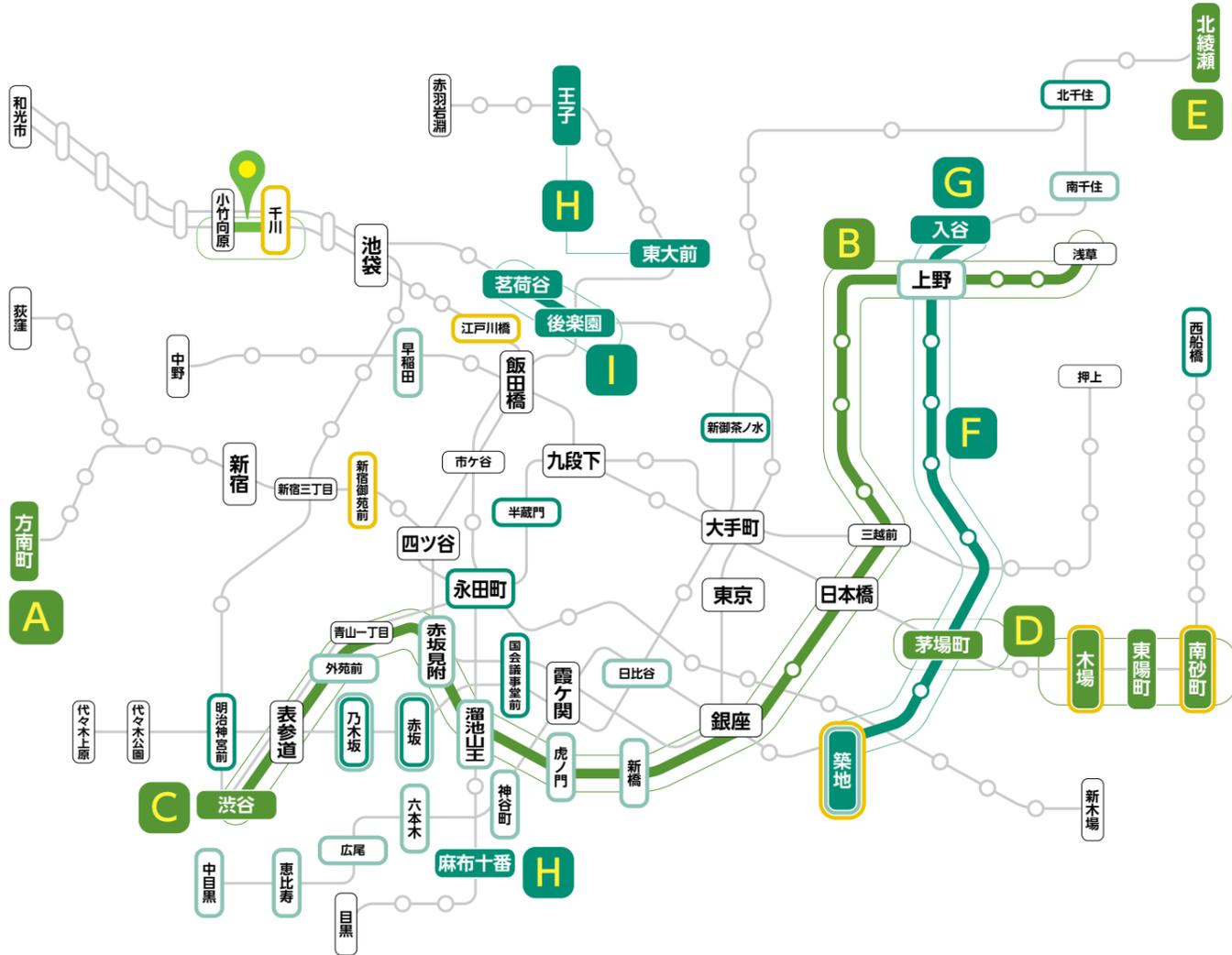
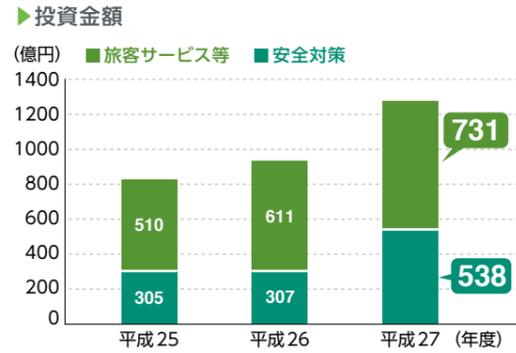
# 安全設備・輸送改善

様々な設備投資や日頃のオペレーションによって  
安全水準の維持・サービス向上に取り組んでいます。



## 安全・サービスへの投資

様々な設備や施設の整備・改良を、  
計画的に実施しています。



## TOPICS

### 有楽町線小竹向原駅～千川駅間 連絡線設置

すでに供用を開始している池袋方面行きの連絡線に続き、平成28年2月に和光市方面行きの連絡線が完成し、運用を開始しました。

有楽町線小竹向原駅～千川駅間連絡線



凡例	線別	駅名	目的	具体的施策
A	丸ノ内線	方南町駅	混雑緩和	ホーム延伸(平成31年度供用開始予定)
B	銀座線	—	快適性改善	新型車両の導入 (1000系を66両11編成導入)
C	銀座線	渋谷駅	混雑緩和・利便性向上	ホーム移設・拡張等(平成31年度新ホーム供用開始予定)
D	東西線	茅場町駅	混雑緩和・遅延防止	ホーム延伸・拡幅(平成32年度供用開始予定)
		木場駅		ホーム拡幅(平成33年度供用開始予定)
		東陽町駅		出入口新設(平成27年度供用開始)
		南砂町駅		線路・ホーム増設(平成33年度供用開始予定)
E	千代田線	北綾瀬駅	輸送改善	10両化に伴うホーム延伸・出入口新設(平成30年度供用開始予定)
F	日比谷線	入谷駅～築地駅間	浸水対策	新型浸水防止機設置(平成27年度供用開始)
G	日比谷線	入谷駅	火災対策	退避空間確保(平成27年度供用開始)
H	南北線	麻布十番駅、東大前駅、王子駅	ホーム転落防止対策	可動ステップ設置 (平成27年度供用開始)
I	丸ノ内線	茗荷谷駅～後楽園駅間	震災対策	地震発生後の早期運行再開に向けた石積み擁壁耐震補強工事 (平成29年度完成予定)
□	東西線 千代田線 有楽町線 半蔵門線	西船橋駅、北千住駅、新御茶ノ水駅、国会議事堂前駅、赤坂駅、乃木坂駅、明治神宮前駅、永田町駅、半蔵門駅	ホーム転落防止対策	転落検知マットの設置 (東西線[南砂町駅]、半蔵門線[押上駅]は平成28年度完成予定)
				転落防止ゴムの設置
				列車風による お客様の転倒防止
□	銀座線 日比谷線 東西線 千代田線	新橋駅、虎ノ門駅、溜池山王駅、赤坂見附駅、外苑前駅、南千住駅、上野駅、築地駅、日比谷駅、神谷町駅、六本木駅、広尾駅、恵比寿駅、中目黒駅、早稲田駅、赤坂駅、乃木坂駅	ホーム転落防止対策	風をトンネル内から直接地上部に放出する緩衝塔の設置
				<ul style="list-style-type: none"> <li>丸ノ内線 日比谷線 東西線 有楽町線 副都心線</li> <li>●新宿御苑前駅、築地駅、木場駅、南砂町駅(施工中)</li> <li>●千川駅、江戸川橋駅(平成27年度完成)</li> </ul>

# 駅と列車の安全

お客様が安心してご利用していただくための  
管理・整備等を行っています。

## 総合指令所

総合指令所では、運輸指令、車両指令、電力指令、施設指令の4つの指令と情報担当をワンフロアに配置し、それぞれの情報を共有して一元的な輸送管理を行っています。事故発生時には、関係する列車、駅などに情報を提供し、対策本部と一体となった処置を行います。また、首都直下地震等に備え、総合指令所の機能・安全性のさらなる強化を進めています。



総合指令所

## ホーム転落・接触防止

お客様のホームからの転落事故や、列車との接触事故を防止する対策として、ホームドアや可動ステップ等の設置を進めているほか、お客様の転落時の安全確保にも取り組んでいます。

<p><b>ホームドア</b> ホームからのお客様の転落、線路内への侵入、列車との接触等を防ぎます。 整備率：約47% (全179駅中84駅整備済)</p>	<p><b>ホーム緑端警告ブロック</b> 視覚障害者の方がよりわかりやすく歩きやすい誘導用ブロックの整備を進めています。内方線がホームの内側を示します。</p>
<p><b>可動ステップ</b> ホームと車両の隙間を減らす可動ステップの設置を推進しています。ステップは、普段ホームの下に格納され、車両ドア・ホームドアの開閉操作に連動して動作します。</p>	<p><b>転落防止警告装置</b> ホームと車両の隙間が大きな一部の駅には、高輝度LED点滅や警報音声による案内を付加した転落防止警告装置を設置しています。</p>
<p><b>転落防止ゴム</b> ホームと車両の隙間を減らすことで線路内への転落を防ぎます。</p>	<p><b>転落検知マット</b> ホームと車両の隙間から線路内への転落を検知した場合、非常停止合図器と連動して列車を停止させます。</p>

## 車両や鉄道施設の点検・保守

安全運行を支えるために、車両や線路、信号設備、電力設備等の鉄道施設を、技術部門が技術基準に基づいて計画的に点検・保守を行い、適切な状態を維持しています。



線路点検の様子

## さらなる安全・新たな可能性

### ● 大開口ホームドアの実証試験

車両のドア位置及び幅が異なる列車が運行される路線への大開口ホームドアの早期設置に向けて、東西線九段下駅にてお客様の流動及び列車の安定運行に与える影響等について実証試験を実施しています。

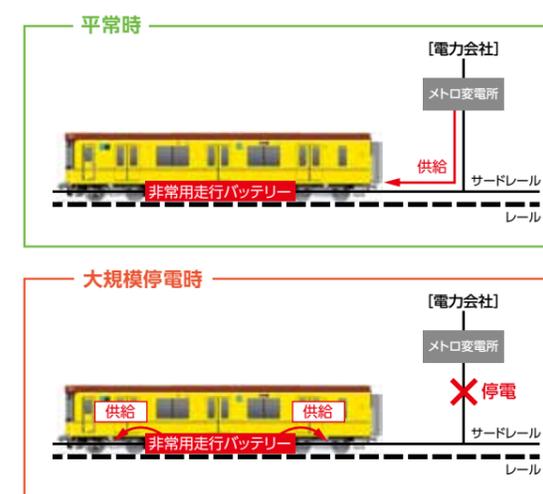


大開口ホームドアの実証試験の様子

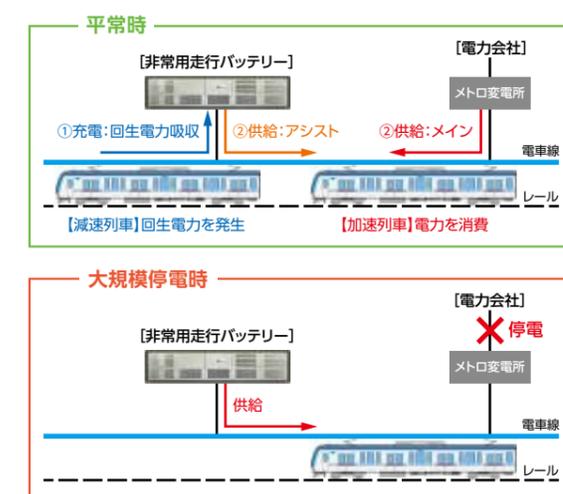
### ● 非常用走行バッテリーの整備

大規模停電が発生したときに、駅間に停止した列車を最寄駅まで走行できるようにするため、非常用走行バッテリーを整備しています。銀座線において、車両に非常用走行バッテリーを搭載するほか、東西線等の長大橋りょう区間において、地上側への非常用走行バッテリーの設置を推進します。

#### ▶ 車両に搭載する非常用走行バッテリーイメージ



#### ▶ 長大橋りょうなど地上に設置する非常用走行バッテリーイメージ



## COLUMN お客様への啓発

東京メトロの安全対策や、災害発生時などの緊急時においてお客様の行動に関してご留意いただきたいことなどを記載した「安全ポケットガイド」を各駅に備え付け、手に取っていただけるようにしています。  
なお、外国人のお客様向けに「安全ポケットガイド多言語版」【英語・韓国語・中国語(簡体字・繁体字)】を用意しています。

